allcinema

雄呂血（1925）

メディア 映画
ジャンル 時代劇　アクション　ドラマ
製作国　日本
色彩　B&W
時間　75分
初公開日 1925/11/20
公開情報 マキノプロダクション

【解説】
　“バンツマ”こと阪東妻三郎の無声映画時代を代表する傑作チャンバラ時代劇。これ以降、日本映画界に剣戟・乱闘映画ブームを巻き起こし、自身も“剣戟王”と呼ばれ一躍人気スターの頂点へと登りつめることとなった記念碑的作品。マキノ独立後の「異人娘と武士」に次ぐ阪妻プロ第２弾。善意の行動が誤解を受け、藩を追われてしまった若侍。放浪の旅を続けるも、純粋ゆえに世間の冷たい仕打ちを容赦なく浴び続ける。そして、多数の捕方によって周囲を二重三重に取り囲まれたとき、ついに男の怒りが爆発するのだった…。
　なんと言っても見どころはクライマックスで展開する大立ち回り。それまでは一人斬るごとに見得を切っていたというチャンバラのスタイルを一変させた阪妻の立ち回りには圧倒される。そのスピード感と緊張感、そしてとてつもない迫力はまさに圧巻。しかし、殺陣の派手さに目を奪われて見落としがちだが、世間に理解されない男の哀しみと追い詰められていく悲壮感をみごとに体現して見せた演技そのものもなんとも素晴らしい。弱冠24歳、若き阪妻のエネルギーがほとばしる快作。

【クレジット】
監督　二川文太郎
原作　寿々喜多呂九平
脚本　寿々喜多呂九平
撮影　石野誠三
総指揮　牧野省三
助監督　村田正雄
　　宇沢芳幽貴
出演　阪東妻三郎　　久利富平三郎
　　関操　　漢学者　松澄永山
　　環歌子　　娘　奈美江
　　春路謙作　　夫　江崎真之丞
　　中村吉松　　侠客　赤城治郎三
　　山村桃太郎　　浪岡真八郎
　　中村琴之助　　二十日鼠の幸吉
　　嵐しげ代　　にらみの猫八
　　安田善一郎　　薄馬鹿の三太
　　森静子　　町の娘お千代

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.